

# マゲノリアの木 No.008

## 小春日和の穏やかな日に

「和家」の入居者は、平日の日中は生活介護などの事業所に通っています。多くは、尾鷲市内の事業所を利用していますが、事業所の休みの時は、近隣市町の事業所を利用します。しんごさんは三重県南牟婁郡御浜町の生活介護事業所「ここ」を週に一度利用しています。送迎をしてもらえることが大きなメリットです。ドライブが好きなしんごさんは40分ほどの時間も苦にならないようです。熊野市に入ると鬼ヶ城、獅子岩、七里御浜と熊野灘を背景に絶景が続きます。(私も季節と天候によって変わる熊野の海が素敵だと思います。)



ある日、獅子岩を過ぎたあたりで工事現場の横を通りました。しんごさんは、「働く人・働く車・日々変わる建物や街の様子」などを見ることが大好きです。(この気持ちよくわかります。)職員さんに、「写真を撮りたい」と話しました。「和家」では「本人の意思に寄り添った支援をしたい。」「気持ちを大切にしたい。」「入居者の皆さんが望んでいることを叶えてあげたい。」と思っています。

11月の小春日和の休日、他の入居者さんにも声をかけて一緒に出かけることにしました。そして、沢山の写真を撮りました。(職員がシャッターを押した写真は、しんごさんのイメージどおりなのかどうかはわかりませんが・・・。日頃の関係からみると期待に添えたのではと思います。)そのうちの何枚かを提供していただきました。



たっぷりと楽しい時間を過ごしたしんごさんたちは、近くのお宮さん(花窟神社)が沢山の人数で賑わっているので、参拝して帰ることにしました。



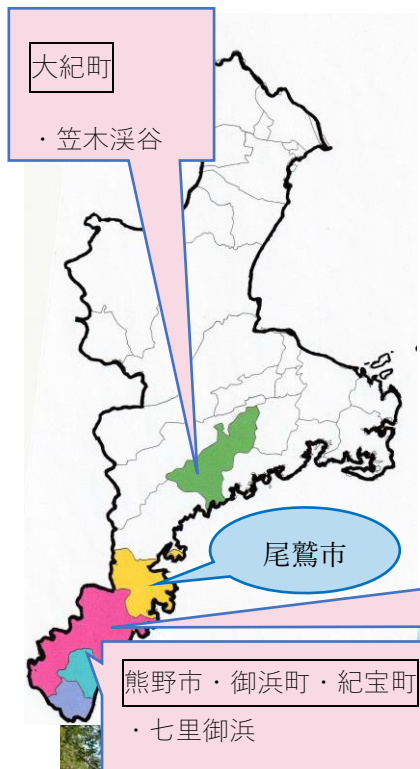
秋の日は短いですね。「和家」に着いた頃にはすっかり暗くなっていました。しんごさんのスナップ写真も増えました。私たちは、入居者の皆さんの思いを大切にしたい支援を実践したいと思っています。願いに応えることが生きがいに繋がればと思います。

(文責 編集担当)

花窟神社(花の窟神社)は日本書紀にも記されている日本最古の神社といわれており、聖地として今に続く信仰はあつく、全国から多くの参拝者が訪れます。(※花の窟活性化地域協議会のHPから)

【花窟神社への交通機関】

JR「熊野市駅」から三重交通バス「花の窟」下車、他。



かさぎ  
**笠木溪谷で紅葉を楽しみました**



12月3日には、笠木溪谷(三重県会郡大紀町)に行き、「紅葉」を楽しみました。今年の紅葉は、少し遅かったように思います。夏の暑さの厳しさのためでしょうか？

